

1. ラグビー祭

平成29年6月25日、同志社大学ラグビー祭が同志社大学田辺グラウンドにて行なわれました。

▶▶▶ プ ロ グ ラ ム ◀◀◀

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 10:00～ | ラグビー運動会・タグラグビー大会 |
| 11:50～ | 同志社大学ラグビー部 部長挨拶
新人紹介・ファンクラブ目録贈呈式 |
| 12:30～ | 同志社チアリーダー パフォーマンス |
| 13:05～ | 天理大学1回生 vs 同志社大学1回生 (30分ハーフ) |
| 14:20～ | 天理大学 vs 同志社大学 (40分ハーフ) |

同志社ラグビー祭

2017年6月25日

同志社大学 **10** 対 **40** 天理大学1回生

キックオフ	13:05
試合会場	田辺G
天候	雨
試合時間	30×30

MEMBER

1	六井	車高	寧(1)	谷口	祐一郎(1)	1
2	井本	智之	之(1)	小松	正義(1)	2
3	栗原	勘之	之(1)	小鍛	悠太(1)	3
4	吉田	治寛	(1)	紺谷	憲治(1)	4
5	真山	文一	(1)	中鹿	駿(1)	5
6	中山	尾泰	星(1)	中古	賀渉(1)	6
7	松本	尚之	(1)	奥平	龍ノ介(1)	7
8	ファイ	アラガ	望サムエル(1)	松岡	大和(1)	8
9	人羅	奎太郎	(1)	白井	礼二郎(1)	9
10	丹羽	紘己	(2)	松永	拓朗(1)	⑩
11	木下	空(1)		上田	悠真(1)	11
12	齊藤	真太郎	(1)	市川	敬太(1)	12
13	崔真	真(1)		土橋	源之助(1)	13
14	東谷	康平	(1)	松井	慶生(1)	14
15	足立	裕基	(2)	國本	茂孝(1)	15
16	竹村	草太	(3)	奥村	英人(1)	16
17	福島	吏基	(1)	清水	万照(1)	17
18	今井	裕太	(3)	西山	隆希(1)	18
19	大宮	熊陽	介(1)	福岡	拓歩(1)	19
20	南野	野海	(1)	寺尾	雄博(1)	20
21	篠崎	太俊	(2)	柿神	優太(1)	21
22	佐久間	輝(2)		寒川	慎次(1)	22
23				串岡	大樹(1)	23
24				伊藤	健太(1)	24
25				武田	瑛(1)	25
26				神三	善行(1)	26
27				浦田	昇里(1)	27
28				前田	英司(1)	28
29				竹谷	一平(1)	29
30						30
31						31
32						32

SUBSTITUTE

前半18分	13	→	23	前半15分	15	→	29
後半2分	1	→	17	後半7分	2	→	16
後半13分	7	→	20		3	→	18
				後半12分	1	→	17
				後半14分	6	→	19
				後半24分	16	→	26
					18	→	23
					4	→	20
					5	→	21
					7	→	30
					8	→	24
					9	→	27
					12	→	31
					10	→	28
				後半25分	14	→	32

RESULTS IN DETAIL

前半2分 天理 22mライン右中間スクラムより9-10-12-13-⑩と左へ展開し左端ヘトライ。ゴールK10不成功。(0-5)
 前半13分 天理 22mライン付近右中間ラックより9-⑥と展開し中央にトライ。ゴールK⑩成功。(0-12)
 前半20分 同志社 ゴール直前左中間ラックより9-⑥と展開し中央にトライ。ゴールK9不成功。(5-12)
 前半25分 天理 ゴール直前中央ラックより9-⑤と展開し中央にトライ。ゴールK⑩成功。(5-19)
 後半19分 天理 ゴール直前右中間ラックより9-10-⑦と展開し中央にトライ。ゴールK⑩成功。(5-26)
 後半23分 天理 22m付近右中間ラックより9-10-13-⑫と展開し右中間にトライ。ゴールK⑩成功。(5-33)
 後半25分 天理 15m付近右端ラックより9-10-⑫と展開し右中間にトライ。ゴールK⑩成功。(5-40)
 後半31分 同志社 ゴール直前中央ラックより11-⑫と展開し左中間にトライ。ゴールK9不成功。(10-40)

SCORE

前半	後半		前半	後半
1	1	T	3	3
0	0	G	2	3
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
5	5	計	19	21
10		対	40	

PENALTY

前半	後半	前半	後半
3	5	6	5

PLAYER'S GAME REPORT



真山文一
(1回生・同志社)

1回生試合天理戦では最後の1回生試合になるのでみんなで楽しんでプレーをしようと話していました。しかし緊張からかアップから少し固くなってしまい、コーチ陣から試合前に厳しい言葉をかけられてしまいました。試合では自分達が意図したプレーはほとんど出来ず相手に動かされ続けた60分だったと感じました。結果としては10対40という大敗を喫してしまいました。自分達のラグビーが出来たチームと、出来なかったチームの差であると感じました。自分達の武器にしよう話していたスクラムでも押すことはできましたが、相手の先制トライにも繋がった1本を含む、3本もターンオーバーされてしまい武器としてはまだまだでした。入部して2ヶ月経った現状で僕たちと天理には30点の差があることが分かりました。
 4年後この差を絶対にひっくり返して天理に勝つ、今日のこの試合を絶対に忘れないとみんなで誓って終わりました。日々の練習を積み重ねて毎日成長したいと思います。最後になりましたがいにくの天気にもかかわらず沢山の方々から応援に来てくださりとても力になりました。ご声援ありがとうございました。

同志社ラグビー祭

2017年6月25日

同志社大学 **7** 対 **36** 天理大学

キックオフ	14:20
試合会場	田辺G
天候	雨
試合時間	40×40

MEMBER

1	木田福一(4)	西川和眞(4)	1
2	平川隼也(3)	藤浪輝人(4)	2
3	田中遼一郎(4)	水野健(4)	3
4	堀部直壮(2)	由良祥一(3)	4
5	服部綾(2)	フィシブナトウイアキ(4)	5
6	丸山尚城(4)	岡山仙治(2)	6
7	阿部慎太郎(4)	島根一磨(3)	7
⑧	野中翔平(4)	ファウルアマキン(3)	8
9	原田健修司(2)	小畑拓也(2)	9
10	光部修平(4)	立見聡明(2)	10
11	鶴田桂樹(4)	中野豪(3)	11
12	阿山部亮介(4)	王子拓也(4)	⑩
13	後藤修平(3)	野田涼太(3)	13
14	安藤雅貴(4)	久保直人(3)	14
15	安田卓平(3)	井関直信介(4)	15
16	橋本真(2)	谷井連太郎(4)	16
17	中村海輝(2)	加藤滉紫(3)	17
18	石橋海洋(4)	山川力優(2)	18
19	徳田敬登(4)	藤井秀人(4)	19
20	平石洋輔(3)	金村拓海(4)	20
21	宮田勇馬(4)	岡野秀哉(3)	21
22	山田公佑(4)	辰巳冬馬(3)	22
23	青木大峻(3)	棚橋優大(4)	23
24	高山井貴(4)	池永玄太郎(3)	24
25	山本翔(3)	坪井翔(3)	25

SCORE

前半	後半		前半	後半
0	1	T	3	3
0	1	G	2	1
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
0	7	計	19	17
7		対	36	

PENALTY

前半	後半	前半	後半
7	7	2	4

SUBSTITUTE

前半4分	1 → 17	後半9分	6 → 20
前半22分	5 → 21	後半10分	3 → 18
前半37分	6 → 20	後半15分	1 → 17
後半0分	20 → 6		2 → 16
後半18分	3 → 18		5 → 19
後半20分	2 → 16		14 → 25
	7 → 20	後半17分	9 → 21
後半21分	2 → 16	後半19分	7 → 24
後半25分	9 → 22		10 → 22
後半36分	12 → 24		13 → 23
後半38分	14 → 25		

RESULTS IN DETAIL

前半8分 天理 22mライン右ラインアウトより、モールを形成し、⑤が押さえて右中間トライ。ゴールK⑩成功。(0-7)

前半18分 天理 ゴール前10m左中間スクラム、そのまま押し込み⑧が押さえて左中間トライ。ゴールK⑩不成功。(0-12)

前半27分 天理 ゴール前5m左ラインアウトより、モールを形成し、⑧が押さえて左中間トライ。ゴールK⑩成功。(0-19)

後半6分 天理 ゴール前5m左端スクラム、そのまま押し込み⑧が押さえて左端トライ。ゴールK⑩不成功。(0-24)

後半15分 同志社 ゴール前10m左中間スクラムより、9-10-⑩とつなぎ、左端トライ。ゴールK⑩成功。(7-24)

後半20分 天理 ゴール前10m左ラインアウトより、モールを形成し、インゴール内で押さえてトライ。ゴールK⑩不成功。(7-29)

後半33分 天理 ゴール前5m右中間スクラム、そのまま押し込み⑧が押さえて右中間トライ。ゴールK⑫成功。(7-36)

PLAYER'S GAME REPORT



田中 遼一朗
(4回生・関西創価)

春シーズンでやってきたことができなかった試合でした。特に個人的にもスクラムではとても悔しい試合となりました。春シーズン、スクラムについてはとても時間をかけてやってきたつもりでした。しかし、試合中全てのスクラムでプレッシャーをかけられてしまい、トライまで取られてしまっただけの結果となってしまいました。FWのセットプレーが安定しなかったことにより、展開力のあるBKが機能せず、敗戦に繋がったと考えています。ですので、秋シーズンではセットプレーの安定が特に求められます。個人としても、チームとしても夏合宿でどれだけ練習できるかが大切になってきます。私自身の成長がチームの日本一に繋がるという責任感を持って、日々挑戦していきます。これからも応援よろしくお願ひ致します。